

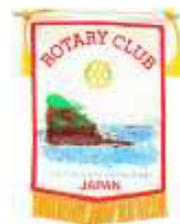
夢をかたちに

2008~ 2009年度
国際ロータリーテーマ
夢をかたちに」

第2820地区 Weekly Bulletin

HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

例会場 要害クラブ TEL 0294-36-2020
例会日 毎週火曜日 12:00~ 13:00
事務所 日立市末広町 1-1-3 国分協同組合内
TEL 0294-36-5074 FAX 0294-37-2176
mail rotaso@iplus.jp
http://www.xyj.co.jp/hitachi/south-rc/



会長; 星 勝治 副会長; 木本 貴一
幹事; 鹿志村 高道 会報委員; 小林 英典 鈴木 幸一 高島 章行

37 平成21年 4月21日(火) 本日のプログラム: 卓話/クラブ会報

次回予告 平成21年 4月28日(火) プログラム: 卓話 雑誌・広報委員会

例会報告

4月21日(火) 12:00 開会
弓野 博司 SAA委員長



会長の時間

星 勝治 会長



川澄さんようこそいらっしゃいました。
近年優秀な女性の方が色々な分野に進出していますので私たち男性も女性に負けないように頑張ることが今の時代不可欠になりました。先日大学の先生が、「もう景気はこのままです」とおっしゃっていました。自動車も一世帯に2台有りこれ以上増える要素が無い。近い将来ハイブリット車から開発中のモーター車になれば1台2万点ある部品が1万点に減ることになり、2万社ある製造業は1万社になるとのことです。あくまで大学の先生の理論ですから現実にそのような状況になるかは定かではありませんが製造業の経営者としては大変気になるところです。ただ、これからは新しく伸びる業界も必ずあるのでアンテナを立てて情報を掴み新たに伸びる分野に参入する道もあります。



幹事報告

鹿志村高道 幹事



川澄様ようこそ日立南ロータリクラブへお越し頂きました。

それでは本日の幹事報告させていただきます。

- ・ガバナ事務所から先日の地区大会の御礼状が届いております。
 - ・来週の例会に第一分区次年度ガバナ補佐の江尻様がお見えになります。
- 以上です。



出席報告

鈴木委員長

会員数	出席	欠席	出席率	訂正	免除
36名	18名	18名	52.9%	100%	3名



卓話御苦労様です。
星 勝治

川澄様 卓話宜しくお願い致します。
鹿志村高道 須田 晃 白石 満義

本日は宜しく申し上げます。
川澄千亜紀

川澄様 卓話宜しくお願い致します。
高島 章行 小澤 興 石川 國博
大森 孝之 信太 克己 佐藤 勝美
弓野 博司 岩崎 敬次 川崎 健輔

例会久しぶりの出席です。要害城の八重桜と
緑がまぶしいです。
白土仙三郎

川澄さん 卓話宜しくお願い致します。
小林 英典 千葉 省三 木本 貴一
鈴木 幸一



本日も多くの方からニコニコBOXへ
ご協力誠にありがとうございました



本日計 24,000円

累計額 1,086,000円

委員会報告

社会奉仕委員会 大森委員長

河原子小学校合同海岸清掃の案内
開催日時；平成21年6月19日（金）9時集合
雨天時；平成21年6月26日（金）
開催場所；河原子海岸 烏帽子岩北側付近

高島副幹事

来週日曜日土浦にて地区協議会がありますので参加者は日立サンプラザに午前8時に集合してください。

本日のプログラム：クラブ会報外部卓話

小林 英典 会報委員長

本日のクラブ会報卓話は水戸南RC川澄会員にお願いいたしました。私と川澄会員の接点は同じデザイン業で、私の仕事は主に商工業のグラフィックデザインやプロデュースそして印刷全般です。川澄さんの仕事はインテリアデザインやエクステリアプロデュース。特に女性ならではの感性で水周りの「キッチンや洗面、バスルーム、レストルーム等」のプロデュースで素晴らしいセンスをお持ちになっているデザイナーの一人です。本日は女性が集まる噂のデザインオフィスと題し女性ならではの感性で川澄さんに卓話をお願いいたしました。



只今ご紹介にあずかりました水戸南RCの川澄千亜紀ともうします。宜しくお願いいたします。この間のワイキキRCの交流会に今日卓話をするので馴染んだ方が良いのではと呼んでいただいて、すごく楽しく過ごさせて頂きありがとうございました。私のオフィスは女性が好きなインテリアについて同じ女性がアドバイスすることにより信頼され、契約も早く取れるなど女性にとって働きやすい環境です。私自身は結婚15年で子供も3人いるのですがその様な時間のない状況で、何故この様な仕事を始めたのかと言いますと日立グループの職場に勤めていた時、板金設計の仕事を一生やっていこうと思っていたのですが実際妊娠したら子供をしっかりと育てたいと想いが変わり退職後6年間専業主婦を務めました。家の中に入ると色々な事が目に付きインテリアの勉強を始めました。実家の工務店に行きハード面も勉強をしたりして天職と思うようになりました。30歳の時に地元の建材メーカーに勤め建材の勉強を始めました。入ってみるとその建材メーカーの品物しか売ってはいけないとか、女性はここまでしかやってはいけないとか、フラストレーションがたまる職場でしたが勉強をさせて頂くだけ頂き、その後ハウスメーカーに入りました。メーカーに行ってみると内勤のコーディネーターと違ってものすごくきつい状況で現場管理から種々の取り付けを実施し余った材料はコーディネーターが引揚げるといった状況でした。男性だったり子供がいなければ続けられたと思いますが子供が病気で帰れなかったり、お客様が土日に打ち合わせを入れると休みが取れなかったり身体を壊したり、1ヶ月くらいで急に来なくなってしまふコーディネーターがいたりしてすごく中がボロボロになってどんどん人が入れ替わってしまうような事があり、これでは社会の核となる家庭も女性が不健康になりだめになってしまうし、そんな女性がいい仕事をできないのはまずいのではないかと思います。

自分の家族にもやさしくお客様にも優しい小さいデザインオフィスができないかと思い立ち上げたのがウォーターワークスです。直訳すると水道設備業という事なのですがアメリカのコーラン社という衛生機器類の大きなメーカーがあるのですが高級住宅や高級ホテルには必ず入っていて、水周りやバスタブでは有名なメーカーで茨城ではどこも特約店の認定を受けていないとのことでしたので茨城のお客様にも広めたいと思い資格を取りました。コーラン社の正規特約店としての看板を上げてコーランジャパンへ近くの仕事の依頼があると自動的に私のオフィスへ仕事に来るようになり、少しは大丈夫かなと思うようになりました。前に勤めていたハウスメーカーのお客様のフォローもできる様になり、輸入住宅専門のリフォームとコーラン社の特約店の2本柱で始めました。最初は友人の事務員と二人でやっていたのですが事務以外の様々な仕事に追われこのままでは家庭もお客様も守れない昔の状況に戻ってしまっは大変だと思っていた所、一年くらいした時に建築士の女性の方に出会って「ウチで仕事をしない？」と軟派をしました。彼女は子供がまもなく中学生なので中学生になったら手伝えるとのことで合流してもらえました。女性が抱える時間に関する問題はまず子どもがいる事や家庭内に面倒を見なければならぬ人がいたり、ご主人が土日お休みの場合休みが合わずずれ違い生活になってしまう事で、空いている時間に集中的に建築の仕事ができる女性を集めていこうとしました。(しかし)ウチに来てというほど会社にお金が無かったのでコーディネーターさんを見かけると声をかけて名刺を渡して何か空いている時間に仕事をしたらければ言ってくださいとみんなに声をかけたただけだったのですが以外にも自分の好きな時間に働きたいという女性が面白いように口コミで集まりました。お互い用事がある時はお客様にもお断りし、家族や自分にストレス与えない事を大原則に仕事をしてもらう様にいたしました。今私のオフィスには5名いるのですが一人も正社員はいません。二級建築士さんが2人とインテリアコーディネーター3名、キッチンスペシャリストが1名、福祉住環境コーディネーターが1名(資格重複)と気がついたらプロ集団でした。自動的に前の住宅メーカーに所属していた優秀なコーディネーターさんが仕事に疲れてウチにきて頂いたことにより、そのコーディネーターさんの廻りで仕事をしていた職人さんやファン、お客様や業者様がついてきてくれ仕事を紹介してくれたり致します。一人を大事にすると

言う事でものすごく輪が広がって仕事がしやすくなりました。才能があるのに才能を生かせない企業が多かったのですがウォーターハウスへ社員をお預けいただきノウハウを教えるような事もしております。仕事をオープンにする事で他社の社員ではありませんが口座が無い為に仕事に制約がある方にウチのシステムをお貸しして自由に仕事をしてもらうこともあります。なかには業者さんで自分の事務所に戻って仕事をするのが面倒なのでウチのシステムを使って仕事をするという事もあります。その様に自由に行っている理由は人の出入りがあれば直接の売上にはならないけれど情報が集まるという利点がありますので完全にオープンにしております。兎に角、風通しが良くてみんなが出入り自由な職場を目指しております。これは男性社会では難しい事ではないかと思えます。さりとは今は経済状況も難しい局面にありもっと働きたいという方も増えて来ましたのでモチベーションアップの為に時給制にするようにもなりました。また完全歩合制だと横のつながりがなくなると思ったのでオフィスに出てくれば時給でお支払するようにしております。場合によっては1つの物件を三人がかりでやっているという事もおきますが、フィーも含め各自の自主性に任せたくしはタッチいたしません。各自が自覚を持っているので売上げにならない場合は時給の申請も致しません。そういう意味ではわたくしが各自の売上げやフィーについて知らないという事も起こりえます。基本的にだれも嘘をつかず報酬の辞退をする場合もあります。請け負った仕事内容や原価に応じて自分の報酬を決める事ができるのは主婦の感覚が生きていると思えますし利益がどの位採れるのか各自が考えて仕事をしている強みはあると思えます。一度遊びに来ていただけると茨城にもこんな面白い企業があるのだと思っていただけだと思います。今後も女性にとって安心して子供が生めて仕事をできる職場を目指したいと思えますので宜しくお願い致します。

